

せいしんがい報

2021年10月1日 第130号

注目記事

- ◆1ページ 研修報告・永年勤続表彰
- ◆2ページ 第1期中長期計画2020・新任職員研修報告
- ◆3ページ 居宅生活訓練事業 調理実習開始・荘内マルト買い物ガストイクアウト
- ◆4～5ページ セタ・暑気払い
- ◆6ページ 寄付・新商品紹介

法人本部
〒972-0161 福島県いわき市遠野町上遠野字堀切12-1
☎(0246) 74-1551 ㊟(0246) 74-1561

救護施設やしおみ荘
〒972-0161 福島県いわき市遠野町上遠野字堀切27
☎(0246) 89-3333 ㊟(0246) 89-3334

指定障害者支援施設ふじみの園・ショートステイほっと
〒972-0252 福島県いわき市遠野町上根本字白坂384-1
☎(0246) 89-3400 ㊟(0246) 89-3454

グループホーム レジデンスなごそ
メゾン・ド・あたご、メゾン・ド・ほりきり、コーポおかおな

就労継続支援B型ワークセンターしおさい
〒971-8161 福島県いわき市小名浜諏訪町1-10
☎(0246) 73-2077 ㊟(0246) 73-2078

就労継続支援B型天真庵
〒974-8212 福島県いわき市東田町2-11-7
☎(0246) 77-2033 ㊟(0246) 77-2733

障害児通所支援第2チャーム・日中一時支援第2チャーム
〒973-8409 福島県いわき市内郷御台境町鶴巻45-2
☎(0246) 84-6882 ㊟(0246) 84-6883

障害児通所支援みよん・日中一時支援みよん
〒974-8261 福島県いわき市植田町林内11-1
☎(0246) 85-5720 ㊟(0246) 85-5721

ハーモニーセンター
〒971-8162 福島県いわき市小名浜花畑町19-10

・指定特定相談事業所せんとらる
☎(0246) 38-3520 ㊟(0246) 38-3521

・就労移行支援・就労継続支援B型支援虹のかけはし
☎(0246) 73-0111 ㊟(0246) 73-0112

・障害児通所支援チャーム・日中一時支援チャーム
☎(0246) 73-2033 ㊟(0246) 73-2034

チームアプローチと職場内コミュニケーションの方法

～よりよい信頼関係を構築し、チーム力を高めるために～

研修報告 共同生活援助コーポおかおな、メゾン・ド・あたご（ほりきり） 管理者 木村 大

講師：日本女子大学 久田 則夫 教授

令和3年9月6日（月）久田先生による後期の次世代人材育成研修が当法人主催にて開催され、前回のテーマがリーダーシップであるのに対し今回はチームワークに焦点を当てた内容となりました。

チームワークとは二人以上の小集団（Team）が共通目的をもって行動する事、機能（Work）する事を言います。チームワークが機能しない職場はサービスの質の低下や人権侵害等、悪循環が常態化します。そこで職員間や他職種との連携「Inter professional collaboration」（誰かが一人で孤独に重い業務を担うのではなく、皆で支え合っていく事）が大切であるという事を学びました。

チームワークの説明を聞き、自身はどの程度チームとして皆と支え合う事が出来ているのか再認識させられる機会となりました。私たちは感情に支配されやすく、特にネガティブな感情に関しては強く反応し連携を乱しやすくなります。この躰きを意識し、相手の考えに対し否定的になってしまった場合には、まずひと呼吸置いてから考量し一人だけで取り組まない、取り組ませない、皆と考えながら進んで行けるような職場の環境づくりを心掛けていきたいと思ひます。今回の研修は管理者として自身の職務を振り返る良い機会となり、多くの気づきを得られ大変有意義なものとなりました。

久田 則夫 教授の プロフィール

現・日本女子大学教授。英国国立スワンジー大学院博士課程に留学。高齢知的障害者に関する社会学的研究で博士号（Ph D）取得。

研究者としてのモットーは「現場とともに歩む」であり、研究で得た知見を現場に還元する活動に力を傾注している。

永年勤続30年表彰

8月6日（金）やしおみ荘地域交流センター（法人本部事務所内）で永年勤続の表彰式を行いました。今年度はやしおみ荘で調理員として勤務しております川又みゆきさんが永年勤続30年の表彰を受けました。「この度、法人より永年勤続の表彰をしていただきありがとうございます。これを励みに、今後も厨房職員として利用者の皆様に美味しい食事を提供していきたいと思ひます。」と抱負を語られました。



第1期中長期計画2020 5つのビジョンについて ～最終回～

シリーズでお伝えしております、私たち誠心会の新たな法人理念「創造・挑戦そして調和」に基づいた5つのビジョンについて内容を掲載しておりましたが、今回は5回目、最終回となりました。ご一読いただければ幸いです。

最終回となります今回はビジョンⅤ「私たちは働く喜びのある法人を目指します。1. 人材確保に向けた取組の強化 2. 人材定着に向けた取組の強化 3. 企業統治（ガバナンス）の確立 4. 業務の効率化」です。

1. 人材確保に向けた取組の強化

長期ビジョン	・就職したいと思われる法人になることを目標にします。 ・2040年以降の生産年齢人口の減少後を見据え適正な人材確保に努めます。
--------	--

2. 人材定着に向けた取組の強化

長期ビジョン	・福祉サービスの継続と発展のために、職員処遇全般の向上、働き甲斐のある職場づくりに取り組みます。
--------	--

3. 企業統治（ガバナンス）の確立

長期ビジョン	・役割を明確にし、法人としての諸活動を整然と実施していく。 ・課税問題の再燃に繋がらないように国民の負託に応えるべく透明性の高い適正な経営を可能とする組織体制を構築します。
--------	---

4. 業務の効率化

長期ビジョン	・生産労働人口の減少局面において、今後ますます人手不足が懸念されるが、業務の効率化のためにICT等を活用して、職員の負担軽減を図ります。
--------	--

新任職員研修報告

ふじみの園 生活支援員 田中 美憂 西郷 翠

8月25日(水)～8月27日(金)の3日間、社会福祉法人福島県社会福祉協議会が主催で開催した「令和3年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程初任者研修」に今年度は4名の方が参加致しました。代表して4月よりふじみの園に配属となった田中生活支援員と西郷生活支援員が報告します。

講義を通して、初任者として福祉の仕事をするうえでの基本的な姿勢から利用者対応、職員間の連携について学び、他施設の職員との意見交換の時間もあったことで、貴重な経験になりました。また、最終日にキャリアデザインシートを作成したことにより、自分の思いやこれからの目標がはっきりとし、この先の支援に対するモチベーションアップに繋がりました。学んだことを生かし、さらに成長していきたいです。

田中 美憂

今回の研修を通して、特にコミュニケーションの大切さを改めて学ぶことができました。また、支援に対する自身の課題が多くあることを認識できました。基本をしっかり身に付け、やるべきことを一つひとつできるようにしていきたいです。利用者・職員共に普段のコミュニケーションを大切に、利用者に寄り添った支援ができるようにしていきたいと思います。

西郷 翠

居宅生活訓練事業 調理実習開始 やしおみ荘

6月初めより、調理実習を開始しました。

当施設の栄養士のアドバイスを受けながら食事の献立を作成し、その献立をもとに必要な食材を挙げ、その後支援の中で職員と共に買い物をします。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、これまでとは異なる支援を取らざるを得ないこともあります。感染予防対策を図ったうえで、必要な物を選び、購入しています。

今年度の居宅生活訓練事業の対象者は2名の女性の方です。1名の方はこれまでの職業経験等から食事の献立を考える、必要な食材を選ぶ、調理する等の工程が得意な方、もう一人の方は米研ぎや食器を洗ったり、片づけをすることが得意な方で、それぞれに役割を持ちながら毎日調理実習を行っています。

久しぶりに調理を行なうということもあり、不安に感じている様子も見受けられましたが、調理実習が始まるとその不安もなくなったようで、今では職員も驚く程、とても丁寧におかずを食器に盛り付けしていました。

これからも調理実習を重ねていくことで、少しでも自信に繋げていけるよう支援したいと思っています。



荘内でマルト衣料品の買い物を行いました

やしおみ荘

6月10日(木)と17日(木)に、マルトファミリー中岡店様に来荘して頂き、荘の体育館で利用者の方が衣類や日用品等の買い物を行ないました。新型コロナウイルス感染症予防対策の為、10日(木)には男性、17日(木)には女性に分かれ、密にならないよう少人数で買い物が出来るよう配慮させて頂きました。

新型コロナウイルス感染症予防対策の為、思うように外出が出来ない利用者の方にとって恒例の行事になった荘内での買い物は、以前からとても楽しみにしており、「いつやるの」「何買おうかな」と嬉しそうに話していました。

当日は、マルト様のご協力もあり、まるで本当のお店のように衣類が並べられ、利用者の方一人ひとりがお気に入りの衣類をわくわくしながら選ぶ姿が印象的でした。お店の方も利用者の好みや希望に沿って商品をそろえて頂き、利用者も衣類の色やサイズに悩みながら購入した後は、とても満足気な表情で「またマルト来ないかな」「何買ったの。楽しかったね」と利用者同士会話する様子も見られ、充実した時間となりました。

今回ご協力頂いたマルトファミリー中岡店様、このような機会を設けて頂き、本当にありがとうございました。

ガストテイクアウト

みによん

今年はコロナ禍の為、外食は控えて、外食チェーンのガストのメニューをテイクアウトしました。

まずは、メニューを見ながら、自分の食べたい物を選ぶことから始まりました。ひとつひとつの写真を見て、「おいしそう」と悩んでいた子どもたち。職員と一緒に自分が食べたい物を選ぶことができました。

食事では、ハンバーグをナイフとフォークで食べたり、うどんをお箸で食べたりと、テーブルマナーの練習も行いました。

「また食べたいね」と子どもたちの笑顔が溢れる、楽しいランチとなりました。



七夕まつり

ふじみの園

七夕まつり

7月21日(水)ふじみの園にて七夕まつりを行いました。創作活動で作成した短冊を笹に飾り付けし、皆で記念撮影を行いました。短冊には利用者一人ひとりの思いや願いが言葉や絵で表現されており、個性が溢れていました。昼食は土用の丑の日が近いことから注文した鰻のお弁当を食べました。お弁当はとても美味しく、利用者は満足した様子でこれから暑い時期に向けて元気をつけました。



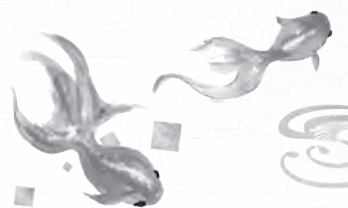
ワークセンター
しおさい

ボウリング大会



8月30日(月)午前中に作業を行い、午後から暑気払いを行いました。暑気払いでは、ボーリング大会を実施しました。コロナ禍ということで外出することは叶いませんでしたが、施設内で皆それぞれ楽しんでいました。

ボーリングは得意、不得意はありましたが、また作業を頑張る活力になったと思います。



暑気払い

虹のかけはし

ホットプレートで暑気払い



8月27日(金) 午前中に作業に行き、午後から暑気払いを行いました。

冷凍のチャーハン・餃子をホットプレートで焼き、デザートはかき氷を皆で食べました。

ホットプレートで餃子を焼く際には、ジュージューといい音、いい匂いが部屋

に充満し皆「早く食べたい」「待ちきれない」との声が上がりました。

焼きあがると、皆で一斉に「いただきます」との挨拶と共に口いっぱい頬張りながら食べました。その後は、お待ちかねのデザートの時間。かき氷はイチゴ・メロン・ブルーハワイの3つの味をそれぞれに選んで、たっぷりと氷の上にかけて食べました。

舌が色々な色に染まっているのを楽しみながら時間はあっという間に過ぎました。皆の笑顔で締めくくることができました。



天真庵

スイカ割り



8月26日(木)午前中に作業をした後、午後から天真庵にて暑気払いを行いました。

何日も前からとても楽しみにしている様子も見られ、当日においては朝からその話題で盛り上がり、お互いに午後まで頑張ろうと声をかけ合っていました。

昼食後、かき氷を自分で作り「シロップ何にしようかなー」と美味しく食べていました。新聞紙を丸めてスイカに見立て、スイカ割りごっこをしました。目隠しをして周りの仲間が手をたたき、声を出して誘導しました。スイカが当たらないと悔しそうにしていたましたが、大きな声で笑い合い利用者、職員共に元気に楽しく過ごすことができました。



三和空調株式会社 様より寄付を頂きました。

令和3年6月18日(金)に三和空調株式会社様より寄付金20万円を頂きました。三和電業グループ様におかれましては、毎年社会奉仕活動を実施しており、グループ各社の売上の一部を災害支援や社会福祉団体へ寄付するなど、地域・社会貢献活動に積極的に取り組まれており、当法人へも3年続けての寄付となり、毎年の御厚意に大変感謝しております。寄付金は、利用者の意向を尊重し、有効に活用させて頂きたいと思っております。ありがとうございました。



「開発会」様より寄付を頂きました。

令和3年7月26日(月)に常磐開発株式会社とその協力会社87社で作る業者会の「開発会」様より社会貢献活動として、又、常磐開発株式会社の創立60周年記念として60万円の寄付を頂きました。今回の御厚意に大変感謝しております。寄付金は、利用者の意向を尊重し、有効に活用させて頂きたいと思っております。ありがとうございました。



商品紹介 ～しおさいのほうとう～

ワークセンターしおさい

ほうとうが新登場しました。

幅約3センチほどで、煮込んでも煮崩れしないコシがあり、これからの季節、味噌煮込み、芋煮などに入れてみてはいかがでしょうか。

太さ、厚さお気軽にご相談いただければご要望にお応えしていきたいと思っております。

お値段は他のうどん同様1食100円です。

是非お召し上がりください。



寄付を頂いた方

佐藤 淳一 様 (佐藤理容所 様)

編集後記

日増しに寒さが感じられ、季節も秋に移り変わろうとしている今日この頃。未だに新型コロナウイルスの話題を耳にしない日はありませんが、新型コロナウイルス対応の飲み薬の開発が急ピッチで進んでおり、早ければ年末もしくは年初めには国内の医療機関にて処方される可能性があるとのニュースを目にしました。徐々にではありますが、新型コロナウイルスが風邪と同じように治療が出来て、以前のような生活が送れる日が来ることを願うばかりです。